



プログラム：  
J.S. バッハ作曲  
カンタータ 78 番 BWV78  
「イエスよ、汝は我が魂を」  
カンタータ 45 番 BWV45  
「人よ、汝は先に告げられたり、  
善きことの何なるか」  
ミサ曲へ長調 BWV233

出演者：  
指揮・バス：小原浄二  
ソプラノ：井村安里  
アルト：小原伸枝・志田理早  
テノール：大島博  
バス：小原一穂  
ヴァイオリン1：蒲生克郷・大谷美佐子  
ヴァイオリン2：三輪真樹・長岡聡季  
ヴィオラ：磯田ひろみ  
チェロ：西澤央子  
コントラバス：櫻井茂  
チェンバロ：劔持清之  
フルート：菊池香苗・弘田恵津子  
オーボエ：尾崎温子・菊池晃平  
ホルン：島田俊雄・飯島さゆり

# 高知バッハカンタータフェライン 第14回演奏会

日時：2011年 **3月6日**（日）午後1：30開場 2：00開演

会場：高知市文化プラザかるぽーと大ホール

入場料：一般2,500円（当日3,000円）・学生1,500円（当日2,000円）

主催：高知バッハカンタータフェライン

後援：(財)高知新聞厚生文化事業団・高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局

NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知

チケット前売り：かるぽーと・高新プレイガイド・美術館ミュージアムショップ・楽器堂オーバスイオン店

お問い合わせ：TEL 088-840-6864（高知バッハカンタータフェライン）

# KOCHI BACH KANTATEN VEREIN

## 高知バッハ カンタータフェライン

[合唱・管弦楽]

高知バッハカンタータフェラインは、1997年4月高知大学助教授小原浄二氏の呼びかけにより、J.S.バッハを中心とするバロックおよび古典の音楽作品を研究・演奏する団体として発足。メンバーは合唱経験も年齢も多種多様ですが、小原氏の指導のもと心を一に練習に励んでいます。1998年3月の第1回演奏会以来、毎年春に演奏会を開催。バッハのカンタータ多数・ヨハネ受難曲・モテット、モンテヴェルディやシュッツ等の作品を取り上げ、“土佐の地にもバッハを”の想いと共に意欲的な活動を行っている。2002年にはドイツから初来日したライブツイヒ・バロック・オーケストラと共演し、コンサートマスターより「光を放つような素晴らしい合唱」と高い評価を得ました。また、その縁から2004年夏にはドイツ演奏旅行を果たし、アイゼナハ・アイスレーベン・ライブツイヒなどバッハゆかりの地での演奏会に出演、その暖かい音色と確かな表現力は現地でも絶賛されました。更に2008年、第2回ドイツ演奏旅行を実現し、三都市での演奏会はいずれも好評を博し、聴衆より「これまで経験したバッハ演奏の中で、最も心に響くものだった」「大変内容の濃い演奏であり、深く感動した」などの賞賛を得ました。



### ～第14回演奏会について～

バッハが作曲した教会カンタータは、礼拝で語られる説教の内容を、音楽と共に深く掘り下げ、そこに集う会衆の心に直接語りかける役割を持って作られました。

今回演奏するカンタータ78番は、イエスに(=キリストに。主に。)キリスト者が自身の想いを語りかけ、信仰のあり方を確かめるような内容を持ち、カンタータ45番では、謙虚に、愛を伴って生きることの意義が述べられています。歌われる言葉は、バッハ当時のキリスト教の教えに基づいたものであり、遠い異国の原語(ドイツ語)ですから、その内容を正確に読み取することは決して容易なことではありません。しかし、言葉の内容を、あらゆる方法を駆使して音楽に込めたバッハを介することによって、現代に生きる我々にも、共感を覚えながらカンタータを演奏し、その真実を聴衆と分かち合うことができると確信して、精一杯演奏させていただきます。

## CHORUS & INSTRUMENTAL MUSIC

## 小原 浄二

[指揮]



岩手大学教育学部卒業後、東京芸術大学音楽学部声楽科に進学し首席で卒業。松田トシ賞受賞。同大学院修士課程独唱科修了。音楽を、佐々木正利、伊藤亘行、多田羅迪夫の各氏に師事。ドイツリート、オラトリオを中心に研鑽を積み、東京芸大時代には小林道夫氏のもとバッハカンタータクラブに所属し、研究・演奏を行う。その後、国内外の演奏会にソリストとして出演。1991年にはウィーン楽友協会ホールにおいて、ブラームスの「ドイツレクイエム」また1993年にはシュ

トゥットガルト、ケルン、ドレスデン、ワイマール等において、フォルトナー「ヘルダーリンの詩による歌曲」を歌い好評を博す。1992～1994年には、鈴木雅明氏が音楽監督を務めるバッハコレギウムジャパンのコーラスマスター及びソリストとして活躍。1994年～1995年ドイツ留学し、H.クレッチマル氏に師事。留学中も積極的に演奏活動を行い、特に、ミュンヘン、ヘラクレスホールにおけるニュルンベルク交響楽団定期公演、J.ツィルヒ指揮、ハイドン「天地創造」バスソロなどは、現地新聞紙上において絶賛される。帰国後も全国各地に招かれソロ活動を行い、宗教音楽の世界的名指揮者である、H.J.ロツチュ、G.Ch.ピラー等との共演や、新日本フィルハーモニー交響楽団定期公演における、G.ボッセとの共演のほか、関西フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、スウェーデン放送合唱団との共演などで高い評価を得ている。

現在、高知大学教育学部教授。高知バッハカンタータフェライン指揮者。アンサンブル《BWV2001》メンバー。

## CONDUCTOR

## 蒲生 克郷

[コンサートマスター]



東京芸術大学卒業。NHK・FM「タベのリサイタル・新人演奏会」に出演。1976～78年渡独。ヒルデスハイム市立歌劇場管弦楽団奏者、ヒルデスハイム室内管弦楽団コンサートマスターを務める傍ら、ヴェルツブルク音楽大学にて研鑽を積む。帰国後は室内楽奏者として憩弦楽四重奏団、東京バロックアンサンブル、東京バッハアカデミー、久合田緑弦楽四重奏団などで活躍する一方、東京芸大バッハカンタータクラブ、盛岡バッハカンタータフェライン、盛岡バッハアンサンブルの指揮者を務めた。1987～88年神戸女学院大学講師。現在、東京芸術大学管弦楽研究部講師、及び同部「芸大フィルハーモニー」コンサートマスター。エルデーディ弦楽四重奏楽団第1ヴァイオリン奏者。アンサンブル of トウキョウメンバー。水戸バッハコレギウム、日立室内アンサンブル、水戸ジュニアオーケストラ、ひたちジュニア弦楽合奏団各指揮者。多久興、海野義雄、ボリス・ゴールドシュタインの各氏に師事。

## CONCERT MASTER